

歴史 活動例B 「天下統一への歩み」

(1) 学習単元と具体的な学習内容

学習単元：内容（４）ア、イ

○戦国の世の中とヨーロッパ人の来航 ○全国統一の事業

具体的な学習内容

○大航海時代

戦乱の時代から全国統一されていく過程でヨーロッパ諸国の大きい影響があったことに気付かせることは、外国人生徒にとって世界の動きの中で日本の歴史をとらえていく視点を身に付けさせることとなる。

(2) 目標

①社会科としての目標

- ・ポルトガル、スペインによる新航路開拓の動きとその後の世界の変化を理解させる。
- ・鉄砲、キリスト教の伝来が日本の社会に及ぼした影響について考えさせる。

②身に付けさせたいスキル

- ・歴史地図や歴史年表から学習に必要な情報を収集したり、集めた情報から当時の様子を考察するスキル。

③身に付けさせたい日本語のスキル

- ・因果関係を表わす表現を知り、ヨーロッパ人の来航が日本に与えた影響について、簡単な文で表現するスキル。
- ・この時代の出来事や関連のある地名を知り、歴史地図や歴史年表から読み取ったことを、それらの資料を利用しながら話すスキル。

(3) 対象とする生徒のイメージ

経験知識	母国語で歴史地図や歴史年表で学習したことがある。世界の主な大陸の名称と位置が分かる。
日本語の力	日常会話には支障がないが、授業中は理解が困難である。筋道立てて状況を説明したりするには日本語の力が不十分であるため、理解したことや自分の考えや意見を伝えることがまだできない。小学校3年生程度の漢字は読み書きすることができる。

(4) 学習の流れと参加のための支援（全体の時間数 6時間程度）

	在籍学級の学習活動例	学習への参加を促すための支援の例
つか	①下剋上の意味を理解する。 ②織田信長など代表的な戦国大名の人物画、合戦の様子等の図版資料から戦国時代の武将や合戦の様子を調べ、関心を持つ。	○織田信長など代表的な戦国大名の人物画、合戦の様子等の図版資料をパワーポイント(OHCでも可)で提示し、教科書で誰か、何という合戦かを調べさせる。調べた人物名や合戦の名はパワーポイントに書き込ませる。 【理解・表現】

む	<p>③大航海時代の様子を考察する。</p> <p>④大航海時代が日本におよぼした影響について考える。</p> <p>⑤天下統一へ動きについて長篠の合戦図をもとに理解する。 学習した内容をカード化していく。</p>	<p>○国名を確認してから、当時のヨーロッパの動きを読み取らせる。 【理解】</p> <p>○図版資料を見ながら、それが何であるのか、どんな影響があったと思うか話し合う。【理解】</p> <p>○合戦図について、具体的にだれがだれと戦っているのか問いかける。 【理解・表現】</p> <p>○調べたことを、カードとして記録させる。【表現・記憶】</p>
ま と	<p>⑥関所の廃止、楽市楽座、太閤検地刀狩り、以上3つの事柄について教科書等で調べ、学習した内容をカード化していく。 (カードの作成、活用)</p>	<p>○何を調べればいいのか疑問の形で例示し、調べることを具体化させる。 【理解・自律】</p> <p>○日本語の表現例を示して、政策をカードに記録させる。 【表現・記憶】</p>
め る	<p>⑦キリスト教の布教が禁止されるまでの様子とその原因を考察する。</p> <p>⑧秀吉の朝鮮出兵について、その理由を調べ、日本人々の立場、朝鮮の人々の立場から、その影響を考える。</p>	<p>○代表的なキリシタン大名の図版やスペイン・ポルトガルの世界進出の様子を表した地図を示し、やりとりしながら経緯を伝える。 【理解】</p> <p>○朝鮮出兵のころの日本の政治の状況について知らせ、なぜ必要だったのかを話し合う。【理解】</p>
広 げ る	<p>⑨写真資料から当時の文化の様子をつかむ。</p> <p>⑩今まで作成したカードをそれぞれ関連づけて整理し、机上に並べる。</p>	<p>○写真資料について具体的に問いかけ、情報を読み取らせる。 【理解・表現】</p> <p>○カードをもとに学習した内容について話し合いながら、関連性を考えて並べさせる。【理解】</p>
発 信 す る	<p>⑪分類されたカードをもとに、世界の変化と当時の日本との関連、天下が統一されるまでの様子や諸政策、当時の文化や人々の生活の様子について発表する。</p>	<p>○発表のモデルを見せ、発表時に利用する文型や表現例を板書し、利用させる。【表現・情意】</p>

※網掛け:(5)指導案で示す授業

(5) 指導案

①本時の目標

大航海時代のおおまかな様子を理解させ、それが日本に及ぼした影響について考えさせる。

②本時の展開

	学 習 活 動	・指導上の留意点 ★教材	○日本語支援 (タイプ)
導 入	<p>①世界の各地でスペイン語、ポルトガル語が使用されていることを知る。</p> <p>②日本語になったスペイン語、ポルトガル語があることを知る。</p>	<p>・対象生徒の母国との関連に配慮する。</p> <p>★世界各国の言語に関する主題図を用意する。</p> <p>・具体例を示す。その際タバコ、ボタン等を現物で示す。</p>	<p>○スペイン・ポルトガルの位置を指で認識させ、母国語で言わせた後、日本語表現を示す。</p> <p>【理解・表現】</p> <p>○それぞれの語彙を音読させ、ワークシートへ記入させる。【表現・記憶】</p>
展 開	<p>③16世紀頃の世界の様子を地図から知る。</p> <p>④コロンブス、マゼラン、バスコ・ダ・ガマの航路を地図上で理解する。</p> <p>⑤世界や日本の変化を年表から読みとる。</p> <p>⑥鉄砲伝来やキリスト教の布教が当時の日本に与えた影響を考える。</p>	<p>・スペインやポルトガルが世界各地に進出していく様子を読み取らせる。</p> <p>・世界各地でポルトガル語やスペイン語が話されていることとの関連に触れる。</p> <p>・スペインやポルトガル語が日本語となった理由について気付かせる。</p> <p>★織田信長、火縄銃、鉄砲足軽、長篠の戦い、南蛮寺の写真や図版を用意し、視覚から、日本への影響が分かるようにする。</p> <p>・火縄銃、鉄砲足軽等、難解な語彙には深入りしない。</p>	<p>○地図や年表から読み取った事実をカード化する。カード例→教材・教具参照</p> <p>・世界の様子：ピンク</p> <p>・国内の様子：水色</p> <p>○カード化した内容を音読する。【記憶・表現】</p> <p>「～が～に到達した」</p> <p>「～が～に進出した」</p> <p>「～に～が伝わった」</p> <p>○写真や図版資料から気付いたことを自由に日本語で表現させる。【表現】</p> <p>→問いかけ・応答の例参照</p> <p>○鉄砲伝来の影響、キリスト教伝来の影響に分けて、口頭で言わせてから、ワークシートに記入させる。</p> <p>【理解・表現】</p>
ま と め	<p>⑦カードを、①世界の様子②国内の様子に分類して、学習した内容を整理する。</p>	<p>・カードの表面を上にし、裏面に書かれた内容を教師が読み上げ、どのカードと関連しているか気付かせる。</p>	<p>○関連したカードを指で指させ、音読させる。</p> <p>【理解・表現】</p> <p>○ほめることにより、成就感を味わわせる。【情意】</p>

<キーワード> 大航海時代 植民地 南蛮貿易 キリスト教 鉄砲

(6) 教材・教具、問いかけ・応答の例

①問いかけ・応答の例

(火縄銃の写真を見て)

T : 当時の火縄銃という鉄砲だよ。今使われている鉄砲とどこがちがうだろう。

S : 太くて長い。ひもがある。

(長篠合戦図を見て)

T : この絵を見て、右と左の武士たちの違いを見つけてみよう。

S : 右の武士は馬に乗っている。左の武士は鉄砲を持っている。

T : そうだね。鉄砲を持っている人がたくさんいるね。(鉄砲足軽の写真を提示)
こんな格好をしていたんだ。

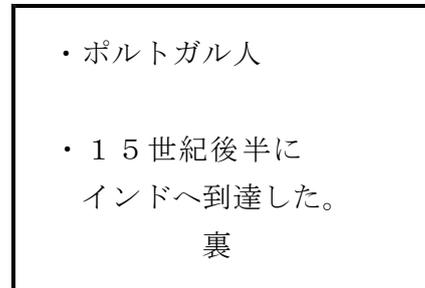
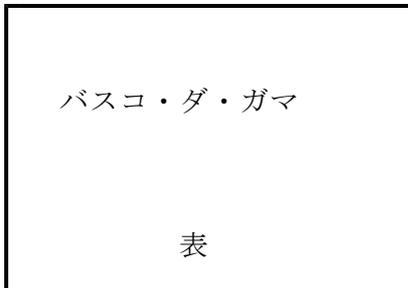
T : 右と左の武士たちはどっちが勝ったと思う？

S : 左の鉄砲を持っていた方。

T : そうだね。こんなに鉄砲を使った戦国大名はこの人だよ。(織田信長の絵を提示)

②教材・教具

- 1) 地図帳の主題図を活用して、現在世界各地で使われている言語の分布を確認する。
- 2) 各社の教科書に掲載されている15世紀～16世紀の世界の様子の記された地図を活用する。
- 3) 各社教科書に掲載された「長篠合戦図屏風」 愛知県 徳川美術館蔵
・織田・徳川連合軍が鉄砲隊を全面に出して、武田方の騎馬隊を迎え撃っている様子に着目させる。
- 4) 各社教科書に掲載された航路が記入されている「16世紀ごろの世界」を表した地図
- 5) カード



6) 年表例

スペイン・ポルトガルの動き	日本のできごと
1492 コロンブスがアメリカ大陸に到達する	1467 応仁の乱起こる
1498 バスコ・ダ・ガマがインドに到達する	< 下剋上の世 >
1519 マゼラン一行が世界一周に出発する	1543 ポルトガル人が種子島に鉄砲を伝える
1533 スペインがインカ帝国を滅ぼす	1549 フランシスコザビエルがキリスト教を伝える
1565 スペインのフィリピン征服が始まる	1560 織田信長が桶狭間の戦いで今川義元を破る
	1575 長篠の戦いで、織田信長は足軽鉄砲隊を使って武田軍を破る

7) ワークシート

年 組 氏名

がくしゅうかだい 学習課題 せいき 16世紀の日本や世界には、せかい どのような変化がへんかあったのだろう。

1 日本語になったがいらいご外来語

(1) 日本語になったスペイン語

(2) 日本語になったポルトガル語

2 てっぽう鉄砲ときょうキリスト教の伝来が、せんごくじだい戦国時代の日本に与えたえいきょう影響を考えよう。

てっぽうでんらい 鉄砲伝来のえいきょう影響

キリスト教伝来の影響

歴史 活動例C 「幕藩体制の成立」

(1) 学習単元と具体的な学習内容

学習単元：内容（4）ウ

○江戸幕府の成立と鎖国政策

具体的な学習内容

○幕府と藩の体制 ○身分制度の確立

(2) 目標

①社会科としての目標

- ・資料をもとに幕藩体制や身分制度について知り、幕府が大名に藩の政治に責任を負わせたことや、農民が幕府や藩の経済を支えていたことなどに気付かせる。

②身に付けさせたいスキル

- ・江戸時代の幕藩体制の地図や鎖国時代の地図から、統治の特徴を読み取るスキル。
- ・参勤交代や農村の生活の図版などから、当時の社会の状況をイメージするスキル。

③身に付けさせたい日本語のスキル

- ・幕藩体制に関する語彙を使って地図や図版等の資料から読み取ったことを表現するスキル。
- ・資料から読み取ったことをもとに、江戸時代の諸政策に関する簡単な文章を読んで理解するスキル。

(3) 対象とする生徒のイメージ

経験知識	出身国の通史については学習している。日本の歴史についてはほとんど知らない。日本地図に関しては、これまで何度か簡単な作業をしたことがある。
日本語力	日常や学習の場面での会話はなんとかでき、読み書きもなんとかできる。ただし、漢字については、小学3年生レベルの漢字が読める程度である。

(4) 学習の流れと参加支援の例（全体の時間数 7時間程度）

	在籍学級における学習活動例	学習への参加を促すための支援の例
つかむ	①家康が江戸幕府を開き、260年の安定した時代になったことを理解し、江戸時代が長く続いたことに関心を持つ。	○時代を長い順に並べさせ、江戸時代が安定していたことを理解させる（特に安土桃山時代との比較で）。
まとめる	②幕藩体制について、直轄地と親藩・譜代・外様大名の配置や、五街道と関所の役割等を中心に、大まかにとらえる。	○大名配置地図で藩別に塗り分ける作業を行い、幕府の藩の統制の仕方を理解させる。
る	③図版を基に江戸時代の農民の暮らしを具体的にイメージし、身分制度による統制の存在を知る。	○農民と武士や町人の暮らしを図版資料で比べて、その違いに気付かせる。